

授業科目名	持続可能型社会論	科目コード	G3402L02
英文名	Sustainable Society		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 社会環境		
------	-------------------	--	--

職名	客員教授	担当教員名	丁子 哲治
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>持続可能な社会とは、生活の質を高めつつ、社会が持続的に維持・発展することであり、人類全体の究極的な目標である。本講義では、地球上の物質循環や環境問題を科学的に理解し、持続可能型社会の実現に向けたロードマップに基づいて、一人ひとりがそれぞれの関心分野において将来に向けた具体的行動ができるようになることを目的とする。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	持続可能	物質循環	エネルギー	ディーセントワーク	ロードマップ
-------	------	------	-------	-----------	--------

到達目標	持続可能な社会の実現に関する基礎知識を持ち、人に説明できるようになる（40%）			
	持続可能な社会の実現のための課題について各自の関心分野において改善行動として具体化できるようになる（40%）			
	自分の置かれた環境の中で持続可能な社会の実現のための行動ができるようになる（20%）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	4.社会人としての能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<ガイダンス> 授業の目的と概要ならびに評価方法について説明する。 持続可能な社会の実現は、今や人類全体の究極的な目標である。この持続可能な社会の概略を説明すると共に、持続可能な社会を実現するための課題について解説する。	
	【予習】特になし	
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	20分
第2回	<人類の歴史から見る持続可能性・食料> 人類はアフリカを出発点として、今や世界に居住を広がっているが、野生の動植物を食料とするには常に困難を伴ってきた。その後、農業による食糧確保の技術を会得するが、これには広大な森林伐採が行われた。このような経緯について歴史を振り返って解説する。	
	【予習】これまでに学習したことのある人類の歴史について振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第3回	<人類の歴史から見る持続可能性・エネルギー> ヒトは火を手にすることによって発展してきた。その火とは森林を伐採して得たバイオマスエネルギーである。さらに産業革命以後では地下から掘り出した石炭や石油を使うようになった。このようなエネルギーの使い方から持続可能な社会について考える。	
	【予習】これまでに学習したことのある人類の歴史について振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第4回	<人類の歴史から見る持続可能性・材料> 歴史的に生活水準の向上のために、種々の製品が製造されてきた。これらの製造に使用される材料は、地下資源や陸や海の生態系から原材料として求められてきており、当時から既に深刻な資源の枯渇により持続性が危ぶまれてきた。	
	【予習】これまでに学習したことのある人類の歴史について振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第5回	<人類の歴史から見る持続可能性・生活用水と衛生環境> ヒトは飲料水などの生活用水が不可欠であり、多くは河川や湖沼の近くに居住する場合が多いが、高地や乾燥地など容易に生活用水が得られない場合もある。生活用水の確保によってもたらされる健康的な生活の持続性について考える。	
	【予習】これまでに学習したことのある人類の歴史について振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第6回	<農業の物質循環> 食糧を省力的かつ経済的に生産するには大規模生産方式が効果的であるが、大規模単一生産は気候変動や災害、病虫害などの影響を強く受ける。ヒトの生存のために不可欠な食糧生産の持続可能性について考える。	
	【予習】歴史的な農業の発展の経緯を振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第7回	<エネルギーの持続可能性> エネルギーはいくつかの種類があり、目的に応じてそれぞれの間で変換される。しかし、一般に変換効率が悪く、しかも貯蔵、輸送が困難な場合があり、ほとんどの場合には最終的にはやがては熱エネルギーとなって大気中に拡散してしまう性質がある。このようなエネルギーの性質を理解し、持続可能性について考える。	
	【予習】これまで学んだエネルギーの種類について予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第8回	<大量生産・大量消費時代の環境問題> 人々は大きな集団で分業化することによって技術を高め、その技術による産業によって社会を創り上げてきた。このような社会の持続的発展のために必要な、技術創造の知的財産、技術伝承の方法、技術利用の環境安全について学ぶ。	
	【予習】20世紀までは、環境問題と言えば公害であった。富山県内で発生した公害について予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分

第9回	<地球大気物質循環> 大気中には酸素、窒素以外に多種多様な微量成分が含まれているが、その多くは、自然現象ばかりではなく、人為的活動を起源としており、気候変動を始めとして種々の環境影響を及ぼしている。このような地球大気物質循環が持続可能な社会に及ぼす影響について理解する。	
	【予習】地球温暖化による身近な影響について、これまで学んだことを予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第10回	<持続可能な社会のための炭素資源の循環> ほとんどの有機化学工業製品は、石油・石炭・天然ガス等を原料としている。これらの製品について、脱炭素化を目指す持続可能な社会のための技術について考える。	
	【予習】有機化学工業製品について、これまで学んだことを予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第11回	<持続可能な社会のための食品の循環> 消費期限切れによる廃棄や食べ残しなど、食品特有の問題について持続可能な社会におけるあり方を考える。	
	【予習】日常の食品の取り扱いについて予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第12回	<持続可能な社会のための工業製品の循環> 工業製品を消費者が使用した後の循環について考える。持続可能な社会では、廃棄ではなく、再生利用から再利用、長期利用への転換が図られている。	
	【予習】持続可能な社会で特に求められている工業製品について、これまで学んだことをもとに予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第13回	<持続可能な社会のための公衆衛生と教育> 新型コロナウイルスの世界的感染の今日、持続可能な社会における公衆衛生について考える。その際、初等教育ばかりではなく、高等教育も重要な役割を果たさなければならないことを理解する。	
	【予習】持続可能な社会で特に求められている高等教育について、これまで学んだことをもとに予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第14回	<持続可能な社会のためのディーセントワーク技術> 少子高齢化による労働人口減少を克服するために、誰もが参加できる持続可能な経済成長と、全ての人に働きがいのある人間らしい雇用の促進のための技術開発が求められている。すなわち、身体機能を補助する技術に加えて、知的機能についても対応する、IoTやビッグデータの扱い、AI等の情報技術などの発展が求められている。	
	【予習】少子高齢化による労働人口減少について、これまで学んだことを予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第15回	<ロードマップ> 持続可能な社会の実現のための行動は始まったばかりである。第1回～第14回で学んだことに基づいた、持続可能な社会の実現に向けたロードマップを考える。	
	【予習】将来の目標を実現するためのロードマップを考えるために、第1回～第14回の講義について復習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第16回	【2021年度：期末課題】 下記の期末課題ファイルをダウンロードして課題を確認してください。 課題レポートは、下記の書式ファイルを利用して作成し、右の のボタンから提出してください。 提出する際には、ファイル名に自分の学籍番号と氏名が入っていることを確認してください。 課題提出は右の のボタンから 【期末課題ファイル】 【提出用書式ファイル】	
	【予習】特になし	
	【復習】特になし	

評価方法	授業への興味関心度と受講態度（10%）、授業毎のミニテスト（30%）、期末試験（60%）にて評価する。 ただし70%以上の出席が無い場合は期末試験受験資格が得られない。 【ディプロマポリシー配分比率】社会性：50%、専門性：50%		
使用資料 <テキスト>	パワーポイント資料などを提示する	使用資料 <参考図書>	パワーポイント資料などを提示する
授業外学修等	テレビや新聞で報道される環境関連記事にも注目すること		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける 送信先：chohji.tetsuji@gmail.com		
オフィス・アワー	（非常勤のため無し）		